市民の安全・安心を確保する災害対策もとめる

西田まさみ議員が9月議会で質問

一般質問する西田まさみ議員
2026年9月15日＝9月市議会

市民への切れ目のない支援継続のため 職員を増やすこと

９月15日、９月市議会定例会の一般質問で、西田まさみ議員は、防災対策・災害対応・避難所の備蓄品について、地域公共交通について等質問しました。左記に質問と答弁の要旨を紹介します。

TKB48を寝屋川市でも

７月28日に、熊本県で発生した最大震度７の地震では、住宅の損壊、大規模な停電や断水のため、多くの人が避難所生活を余儀なくされました。

避難所では、堅い床に段ボールやタオルなどを敷いてざこ寝の状況で、高齢者に段ボールベッドが届いたのは震災後１週間がたってから、食事は、パンやおにぎりなどが１週間も続きました。

40度を超す、酷暑日となった被災地では、トイレの使用回数を減らそうと、水分を控え脱水症になった人もいました。

被災者に必要な支援が届いていないのではないかと考えます。

本市では、避難所となるすべての体育館に、停電時にも使用可能なエアコンが設置され、飲料用の井戸を２０２９年度までに小学校に設置する工事が進められています。

トイレについては、断水時を想定して、凝固剤を活用した簡易トイレを避難者の人数を想定して、備蓄していきます。

また、エコノミークラス症候群の対策のため、段ボールベッド４１００台が設置されます。

けれどもこれだけでは十分とはいえません。

今、日本では地震の多いイタリアの災害時の避難所運営にならい、発災後48時間以内にＴＫＢ（トイレ、ＫＢ＝キッチン（温かい食事）、Ｂ＝ベッドを被災地に届ける仕組みを整えていこうとする取り組みを整えていく時には、物資の供給等を行っていく。

●質問

ＴＫＢ48についての市の見解をお聞きします。

◆答弁

ＴＫＢ環境の整備については、トイレは約４万人の避難生活に対応するため、３日分、約60万セットのトイレ凝固剤を避難所となる小中学校に配備。

ベッドについては、折り畳み式防災ベッドに加え、段ボールベッド４１００台を配備。

キッチン、温かい食事については、広域かつ甚大な被害が発生した場合には、まずは備蓄している３日間の食料を避難者に確実に提供していくことが必要であると考えている。

簡易トイレ、段ボールベッド、食料支援については、東京都立川市と本年６月に協定を結び、一方が被災した（ＴＫＢ48）が進められています。

●質問

ＴＫＢ48についての市の見解をお聞きします。

◆答弁

ＴＫＢ環境の整備については、トイレは約４万人の避難生活に対応するため、３日分、約60万セットのトイレ凝固剤を避難所となる小中学校に配備。

ベッドについては、折り畳み式防災ベッドに加え、段ボールベッド４１００台を配備。

キッチン、温かい食事については、広域かつ甚大な被害が発生した場合には、まずは備蓄している３日間の食料を避難者に確実に提供していくことが必要であると考えている。

簡易トイレ、段ボールベッド、食料支援については、東京都立川市と本年６月に協定を結び、一方が被災した時には、物資の供給等を行っていく。

災害が起こった時、公的支援を行っていく市の職員数が、寝屋川市では少ないと考えます。住民への切れ目のない支援を継続していくためには職員の健康と安全を保障すべきと考えています。

●質問

市民のための実効性のある災害体制を築いていくために、担当部局のみならず、市全体の職員の増員を求め市の見解をお聞きします。

◆答弁

行政は市民の命・財産を守ることを使命としており、市民の安全安心の確保につながる災害対応は極めて重要な取り組みであると考える。引き続き、災害対応をも想定した適正な職員数を確保していく。

市政報告会

日時：10月10日（土）
午後1時半
場所：日本共産党
寝屋川市委員会
（八坂町15－35）

内容：９月議会、決算等寝屋川市政について党議員より報告し、懇談します。

〈主催〉
日本共産党寝屋川市会議員団

寝屋川民報

発行
日本共産党
寝屋川市会議員団
072-824-1181
№３６１６

寝屋川市会議員
中林かずえ
宝町 4－33
090-3944-8385

寝屋川市会議員
松尾信次
下木田町 12-6
090-3056-9924

寝屋川市会議員
西田まさみ
石津中町 30－3
090-9713-3588

前寝屋川市会議員
太田とおる
高柳 2-49-2
080-3818-9722

子どもたちが安全に楽しく遊べる打上川治水緑地ポッツアに

８月１日にオープンした、打上川治水緑地水遊び場ポッツアは、多くの子どもたちでにぎわっていましたが、オープン当日にウオータースライダーで女児が打撲するということがありました。

また、水質について「人工のせせらぎの底に土がたまり、水が濁っている」「あんな水の中で子どもたちが遊んでいて大丈夫なのか」という声が寄せられました。

夏休みの終わりころには、水の流れがなく、せせらぎの岸には苔や藻が生えていました。

子どもたちの遊ぶ場所です、衛生面、安全面が気になりました。

寝屋川市の中心に大きな水遊び場ができたことは評価します。

この水遊び場を今後一層充実させることと合わせて、次は規模の小さい水遊び場を市内の数か所の公園に設置することを求め以下質問します。

●質問

人工のせせらぎについて市民から寄せられた要望や意見についてどう対応しましたか。

◆答弁

水に対する要望や意見については、現場確認を行い、必要に応じて施設の利用停止、清掃、水の入れ替えを行っている。

●質問

安全面、衛生面で今後に向けて改善することはありますか。

◆答弁

今年度の運用を通じて得られた知見をもとに、より安心して利用できる運用方法について検討していく。

●質問

今後新たに、市内の公園などに水遊び場を設置することを求め市の見解を聞きます。

◆答弁

ポッツアの利用状況をふまえ、現在、策定に向けて取り組んでいる「公園のありかた計画」の中で示していく。

ウォータースライダー

オープンの日のポッツア

梅が丘地区に乗り合い事業の導入を

寝屋川公園駅と寝屋川市駅をつなぐ一つの路線が、本年３月に廃止されました。それにより、梅が丘２丁目のバス停がなくなり、これまで自宅近くのバス停からバスに乗っておられた人が、「寝屋川公園駅まで行くのも大変になった、買い物や通院など本当に困っている」と訴えられました。

バスで宇谷小学校に通っていた児童も、路線廃止によって、星田駅まで歩き、星田駅から寝屋川市駅行きのバスに乗って登校することになり、これまでより通学時間がかかるようになったとのことです。

梅が丘地域の方が始められた「公共交通を守り、充実を求める要望書」は地域の方から「私も困っていました」「何とか代替策を」との声が寄せられ、短期間で５４８筆の署名が集まり、交通政策課に提出しました。

すでに寝屋川市では、交通困難地域に対し、乗り合い事業が実施され、成田、河北、仁和寺地区で利用されています。エリアの拡大も検討するとのことでした。ぜひ、梅が丘地区にも乗り合い事業を導入するよう求め市の見解をお聞きします。

◆答弁

今後、公共交通のあり方が変化していくことを想定した、市民の利便性の確保が必要で、あらゆる交通手段の導入に向けた検討を行っているところであり、路線延長による影響や代替手段の有無など、総合的に判断していく。

法律相談

日時；10月8日（木）
午後6時半～
※受け付けは6時から
場所；日本共産党
寝屋川市委員会
（八坂町１５－３５）
☎072-823-0058

相談を希望される方は、市委員会または市議会議員まで、電話で予約をお願いします。

議員日誌

西田まさみ

打上川治水緑地の水遊び場ポッツアは、８月28日の豪雨により、川からの越水で、人工のせせらぎに土砂が流入し、芝生がはがれ流され、人工芝もはがれ、その下の土砂も流され、パイプなどがむき出しになるなど大きな被害が出ました。

市は、原状回復に向けて整備をおこなうとして、９月12日に再開するとしていましたが、その後も天候が悪く、整備が進まず、再開は19日になるとのお知らせがありました。

被害の状況を見た私は、19日の再開までに原状回復できるのか心配しましたが、整備が精力的に進められ、19日には、芝生が敷きなおされ、せせらぎの水も底に土もなく、透きとおっていました。

オープン当初から、水質について市民から様々な声が寄せられていたポッツアですが、この夏最後のポッツアは、安心して遊べる水質で、名残の夏を楽しむ子どもたちの姿が見られました。

今後も、子どもたちの安全な水遊び場の拡充を求めていきます。